

こども家庭庁
令和6年度出生前検査認証制度等啓発事業
「一緒に考えましょう、出生前検査シンポジウム」
開催報告

2025年3月

シンポジウム事務局：株式会社朝日新聞社

1. 参加者・属性

2. 自治体関係者に関するデータ

3. ご意見・ご感想等 { 本事業に求めること
出生前検査に関して知りたいこと
出生前検査に関して課題と思うこと
その他 ご意見・ご感想

4. 開催概要

1. 参加者・属性

2. 自治体関係者に関するデータ

3. ご意見・ご感想等 { 本事業に求めること
出生前検査に関して知りたいこと
出生前検査に関して課題と思うこと
その他 ご意見・ご感想

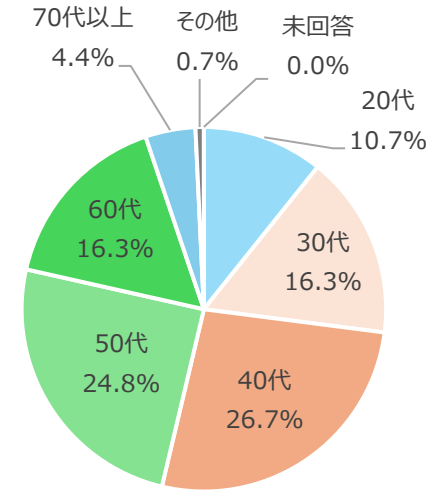
4. 開催概要

参加者・属性

- ・会場・オンラインあわせて合計430名程度の参加者
- ・年代は会場、オンラインあわせて【40代・50代】が最も多くあわせて 51.5%
- ・職業は【医師以外の医療従事者】 50.4% 【自治体関係者】 35.6%、【医師】 5.2% となった。

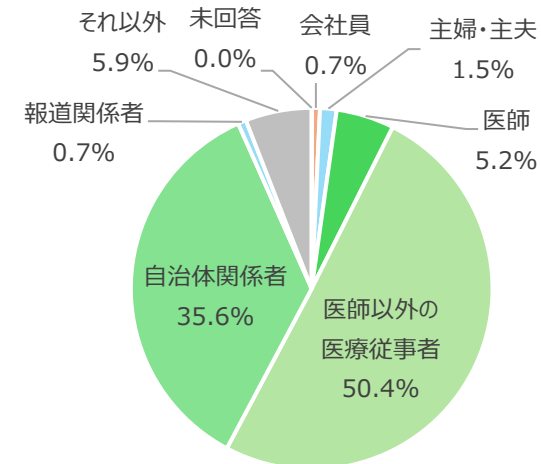
■年代

回答	件数	比率
20代	29	10.7%
30代	44	16.3%
40代	72	26.7%
50代	67	24.8%
60代	44	16.3%
70代以上	12	4.4%
その他	2	0.7%
未回答	0	0.0%
合計	270	100.0%



■職業

回答	件数	比率
会社員	2	0.7%
主婦・主夫	4	1.5%
医師	14	5.2%
医師以外の医療従事者	136	50.4%
自治体関係者	96	35.6%
報道関係者	2	0.7%
それ以外	16	5.9%
未回答	0	0.0%
合計	270	100.0%



1. 参加者・属性

2. 自治体関係者に関するデータ

3. ご意見・ご感想等 { 本事業に求めること
出生前検査に関して知りたいこと
出生前検査に関して課題と思うこと
その他 ご意見・ご感想

4. 開催概要

自治体関係者に関するデータ

■参加自治体

【ご職業で「自治体関係者」を選択された方】

回答数：96件

■所属の都道府県・市区町村

東京都 昭島市	1件	宮城県 仙台市	2件
東京都 東大和市	1件	秋田県 潟上市	1件
東京都 荒川区	1件	大阪府 東大阪市	1件
東京都 品川区	1件	長崎県 壱岐市	1件
神奈川県 横浜市	2件	長崎県 西海市	1件
茨城県 水戸市	1件	長崎県 島原市	1件
茨城県	3件	長崎県 平戸市	1件
茨城県 茨城町	2件	鳥取県 鳥取市	1件
茨城県 潮来市	1件	栃木県 宇都宮市	1件
茨城県 日立市	1件	福岡県	1件
茨城県 利根町	1件	福岡県 中間市	1件
岩手県	1件	福岡県 芦屋町	1件
岩手県 平泉町	1件	福岡県 行橋市	1件
岐阜県	1件	福岡県 築上町	1件
岐阜県 岐阜市	1件	福岡県 福岡市	1件
宮崎県	1件	福島県	1件
宮崎県 小林市	1件	兵庫県 豊岡市	1件
宮崎県 川南町	1件	北海道	1件
京都府 京都市	1件	和歌山県 岩出市	1件
広島県	3件	和歌山県 和歌山市	1件
広島県 福山市	5件	福岡県 遠賀町	1件
三重県 津市	1件	鹿児島県 龍郷町	1件
鹿児島県	3件	沖縄県 沖縄市	1件
鹿児島県 いちき串木野市	1件	未回答	36件
		合計	96件

自治体関係者に関するデータ

■【ご職業で「自治体関係者」を選択された方】

所属自治体内で、出生前検査に関する相談対応をしている部署名一覧

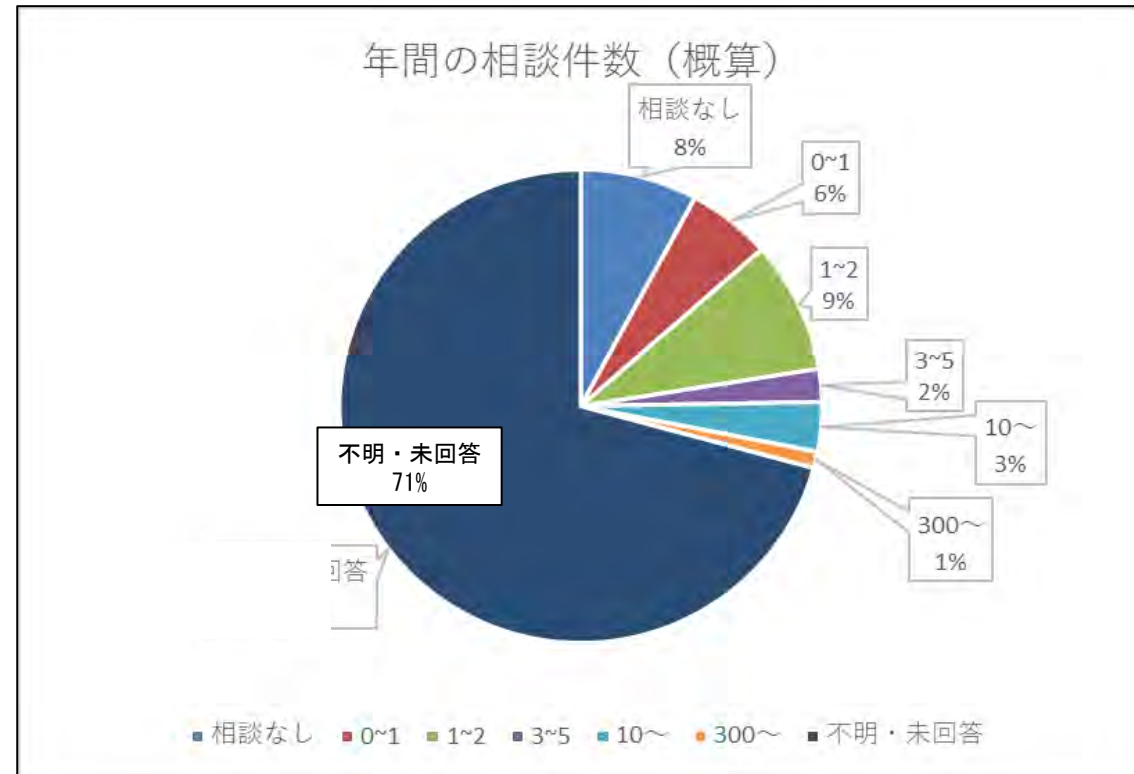
こども家庭センター
こども未来課
こども課
ネウボラ課
ネウボラ推進課
子ども子育て応援課
子ども支援課
子ども未来課
子育て・健康支援課
子育て応援課
子育て支援課
子育て世代包括支援センター

母子保健担当
保健福祉センター
健康・こども課
健康増進課
健康増進係
健康福祉部こども課
福祉保健部保険健康課
町民健康課
保健係
保健相談係
保健福祉部健康ほけん課
保険健康課

自治体関係者に関するデータ

■【ご職業で「自治体関係者」を選択された方】 年間の相談件数

相談件数	回答数
相談なし	7
0~1	5
1~2	9
3~5	3
10~	4
300~ (※)	1
不明・未回答	67
合計	96



(※) 出生前検査に関わらず、自治体への総相談件数を記載された可能性あり

1. 参加者・属性

2. 自治体関係者に関するデータ

3. ご意見・ご感想等 { 本事業に求めること
出生前検査に関して知りたいこと
出生前検査に関して課題と思うこと
その他 ご意見・ご感想

4. 開催概要

本事業に求めること

出生前検査に関する相談対応をしている部署	本事業に求めること
こども家庭センター	最新の情報を教えていただけると嬉しい
	現場で参考となる資料があれば欲しい
子育て支援課	相談された際に、何か説明のもとになる資料があると助かる
いきいろこども未来課	自治体の役割、できることを具体的に詳しく教えて欲しい 甲府市さんの8か月アンケートの活用方法、アンケート内容について知りたい
福祉保健センター こども家庭支援課	検査実施医療機関の情報が欲しい
保健福祉センター	出生前検査を受けたい人は受けられて、受けたくない人は受けないことを誰もが選べるよう相談のハードルを低くする情報発信 妊娠が分かった時点で検査のことも夫婦の会話に出るくらい当たり前のことになったら良いと思う
母子保健担当	母子手帳に情報サイトを記載して欲しい
子育て・健康支援課	自治体向けリーフレットは、必要時の対応に手元に持っておきたいです
子育て世代包括支援センター	出生前検査について、また遺伝カウンセリングについて、正しい情報の学習会等を開いてほしい
	検査の相談を受けて説明する際に参考になるチラシのサイトなどあれば教えてほしい
	正しい知識啓発のための媒体を提供したり、活用方法、事例などを教えていただけると即実践できることも多いと思う

今後、出生前検査に関して知りたいこと（自治体関係者）

回答	年代
費用について 医療機関での支援の実際、実際に受けた方の声、思い、体験談等	20代
認定施設以外で検査を受ける方へのフォローについて 出生前検査で陰性だったが、出生後に染色体疾患等があった児の家族へのフォローについても知りたい	30代
自治体の中立的な立場として妊婦さんから相談があった場合に、どこまで介入していくか 思いの表出、受け止めだけでいいのか、情報提供もどこまで詳しくできるのか、どこまで詳しく伝える必要があるのか	40代
地域格差、経済格差のある地域では、関沢先生が言われていた検査を受けたいのにあきらめる選択をすることになる そのため、その点を今後どのようにしていく予定か知りたい	
出生前検査を受けたあとのサポート体制の実際について	
当事者の経験談	50代
NIPTの今後の展望	60代

出生前検査に関して課題と思うこと (自治体関係者)

回答	年代
検査をすることのリスク(羊水検査は針をさすため)	20代
陽性者の77%が中絶に至っている事実	
無痛分娩を選択することによる周囲の目と似ている気がする まだまだ選択したことを隠したり、アンチの意見に耐える必要がある 一部の医師の出生前検査不要という思想で、相談できず不安を抱えて行政に相談にくる方がいる 医療者側の考え方によって揺さぶられる妊婦がいる	30代
妊娠してから検査の必要性について悩むのではなく、学校教育の時点から妊娠・出産に関するリスク等について学ぶ機会を増やし不安なく妊娠をむかえられるような社会づくりが必要ではないか また、この検査をもっと広めたいのかどうか、国としてのビジョンが見えてこない 現場の配慮に頼っている感じがする	
出生前検査を受検する施設が限られていること	40代
自治体での最新で正確な情報提供 ネット等で安易に情報をとれてしまう中で、妊婦が正しい理解をした上で検査を受けることが難しいと思う また限られた時間の中で遺伝カウンセリングを受けることができる状況なのか、相談先も少ないように思う	
自治体で相談に乗ることができるカウンセラーがいないこと	
出生前検査の認証医療機関が増えていくと、検査を迷っている方へのハードルが下がるのではないか	
地方では検査を希望されても遠方に出向く必要があるため、時間や費用面で負担を感じる家族があるのではないか	50代
優生思想は地域に根付いているため、妊婦本人だけでなく家族や社会からの偏見や差別から、生きづらさ辛さ哀しみを想起してしまうこと 事実か定かでないが、日本人は不安になりやすいと言われており、国により違いがある可能性もあること	
医療機関と自治体の連携 相談をうける人の知識のレベルアップを自治体の体制としての標準化	
後方支援の専門相談機関が必要だと思う	60代
母子健康手等交付の際に情報提供することになっているが、対応者一人一人のスキルが違うので難しいと感じている	

その他 ご意見・ご感想 (自治体関係者)

回答	年代
とてもわかりやすい講義資料でした ホームページへの資料の掲載をしていただけると、参加していない他の職員への共有もできるのでありがたい 自治体が活用できるリーフレットやQ&Aを教えて頂いたので、今後活用していきたいと思う 今後の業務に生かしていきたいと思う	20代
出生前検査の変遷であったり、自治体に求められる役割を学ぶことができたので良かった	30代
小児慢性特定疾患の担当をしている。様々な立場の方からの意見が聞けたことがとても参考になった。 今後検査について相談を受けた場合は、保護者のかたの気持ちに寄り添いながら、正確な情報を中立な立場で提供していきたい 統計的な数字を出していただいていたのでわかりやすかった 疾患の有無のためだけでなく、その後の準備やサポートを探す期間として検査を受ける選択をするというプラスの考え方を知れたことは新たな気づきだった	40代
日本国憲法を改めて振り返りたいと感じた 一つのテーマに対し、様々な分野の方の話を聞くことができ、とても良かった 第1部と第2部は少し難しかったので配信を再視聴したいと思う	50代
職場に居ながらZoomで受講できてよかった 当市でも母子手帳交付時は助産師と保健師が面談し、妊娠6・8か月で電話で訪問、ご自宅への訪問、出生時連絡時窓口面談、赤ちゃん訪問、乳幼児健診へと切れ目ない支援、繋がりを大切にしている 多くの不安を抱える妊婦さんへの寄り添いを大切に日頃から顔の見える関係を大切にしていきたい 現在行われている出生前検査の内容や、結果について詳しく聞くことができた 検査に際して、非支持的な態度で相談に応じる、誘導しないように気を付ける、中立的な立場で話すなど、妊婦さんの気持ちを最優先するという態度が大切だと思った 妊婦の相談窓口として正しい情報をアップデートしながら相談者に寄り添っていきたくらいと思った 「そこに検査があるから」受けたいと感じる妊婦ご家族のお気持ちはよくわかる それだけに経済面だけでなく内容にも関心寄せてもらえるような対応ができたらと感じた	60代

1. 参加者・属性

2. 自治体関係者に関するデータ

3. ご意見・ご感想等

{ 本事業に求めること
出生前検査に関して知りたいこと
出生前検査に関して課題と思うこと
その他 ご意見・ご感想

4. 開催概要

- 13:30-13:35 開会挨拶
- 13:35-13:55 第1部講演「～正しい知識が、適切な支援の第1歩～出生前検査の基本を知ろう」
- 14:00-14:20 第2部講演「～とまどい・不安に寄り添うことの大切さ～
出生前検査に係る支援の必要性を理解しよう」
- 14:25-14:45 第3部講演「～こどもの成長を長期的にフォローアップする～
その端緒としての出生前検査に関する相談・支援の在り方」
- 14:50-15:05 第4部講演「～具体的にどうサポートすればよい？～
支援の方法の具体的事例を学ぼう」
- 15:15-16:00 第5部パネルディスカッション

▼挨拶：こども家庭庁成育局 母子保健課 課長補佐 小倉 慎司氏

▼講演

第1部登壇者：昭和大学医学部産婦人科学講座 主任教授 関沢 明彦氏

第2部登壇者：信州大学医学部保健学科 看護学専攻教授 中込 さと子氏

第3部登壇者：昭和大学横浜市北部病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター/こどもセンター
富永 牧子氏

第4部登壇者：甲府市子ども未来部 子ども未来総室母子保健課 岡田 恵子氏

▼パネルディスカッション

登壇者：昭和大学医学部産婦人科学講座 主任教授 関沢 明彦氏

信州大学医学部保健学科 看護学専攻教授 中込 さと子氏

昭和大学横浜市北部病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター/こどもセンター

富永 牧子氏

甲府市子ども未来部 子ども未来総室母子保健課 岡田 恵子氏

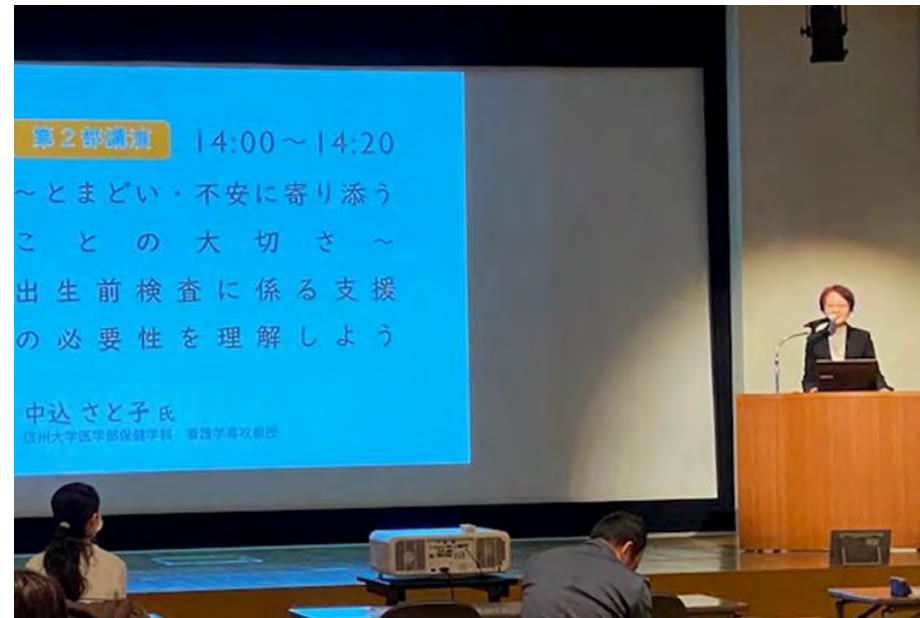
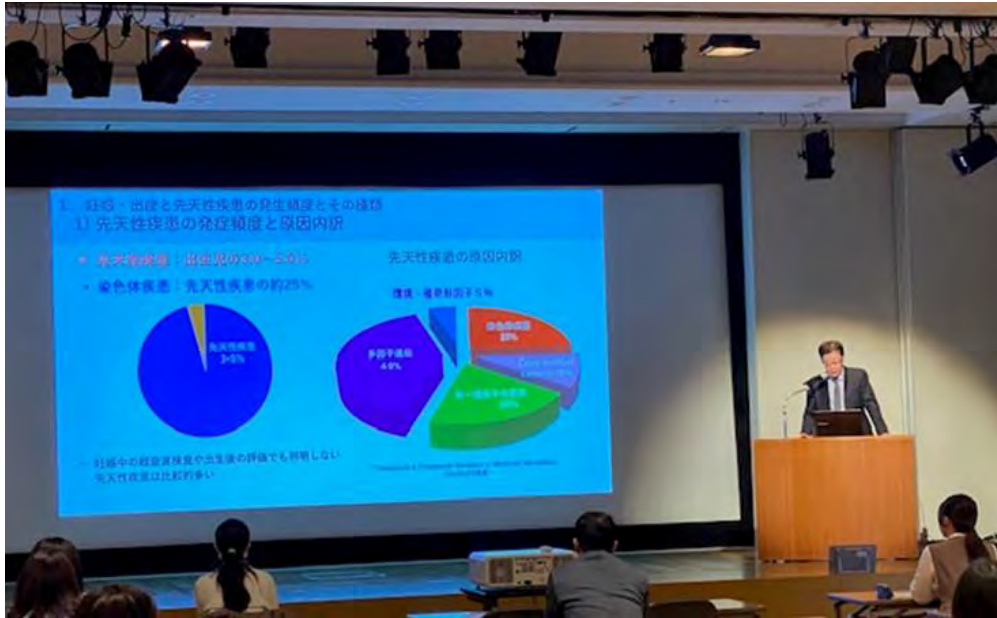
出産ジャーナリスト 河合 蘭氏／

タレント・コラムニスト 山田 ローラ氏

ファシリテーター：富岡 史穂氏

▼司会：若井友紀子氏

当日の様子 第1部～4部



当日の様子 第5部パネルディスカッション



一緒に考えましょう 出生前検査 シンポジウム

こども家庭庁
令和6年度出生前検査認証制度等啓発事業



趣旨

出生前検査について悩み、迷っている妊婦さんやご家族を支えていくため、正しい知識を知り、支援の必要性やそのあり方を学ぶシンポジウムを開催いたします。第一線で取り組んでこられた産婦人科医、小児科医、助産師の方々や自治体ご担当者、ジャーナリストの方にお集まりいただき、意見を交換いたします。パネルディスカッションには、受検経験者のタレント山田ローラさんにもご登壇いただきます。この機会に、出生前検査について一緒に考えてみませんか。

日時

2025年1月22日（水）
13：30～16：00終了予定
（13：00開場）

会場

浜離宮朝日ホール
小ホール
東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社・新館2階
都営大江戸線「築地市場駅」A2出口すぐ

申込方法

下記URLまたは二次元コードから、事前の申し込みをお願いします。

<https://que.digital.asahi.com/epost/11015484>

※申込締切は、会場参加の場合は2025年1月5日（日）23：59まで。
オンライン参加の場合は1月17日（金）23：59まで。



定員

会場定員300名／オンライン500名
※オンラインは、ZOOMで同時配信致します。

問い合わせ

出生前検査シンポジウム事務局
（株式会社朝日新聞社）
prenatal-cfa@info-event-jimukyoku.jp

こどもまんがの
こども家庭庁

プログラム

13：30 開会挨拶

13：35～13：55 第1部 講演

～正しい知識が、適切な支援の第1歩～
出生前検査の基本を知ろう

■昭和大学医学部産婦人科 医学講座 主任教授 関沢 明彦氏

14：00～14：20 第2部 講演

～とまどい・不安に寄り添うことの大切さ～
出生前検査に係る支援の必要性を理解しよう

■信州大学医学部保健学科 看護学専攻教授 中込 さと子氏

14：25～14：45 第3部 講演

～こどもの成長を長期的にフォローアップする～
その端緒としての出生前検査に関する相談・支援の在り方

■昭和大学横浜市北部病院 臨床遺伝・ゲム医療センター/こどもセンター
富永 牧子氏

14：50～15：05 第4部 講演

～具体的にどうサポートすればよい？～
支援の方法の具体的事例を学ぼう

■甲府市役所 子ども未来部 子ども未来総室母子保健課
係長 保健師 岡田 恵子氏

15：15～16：00 第5部 パネルディスカッション

■関沢 明彦氏

■岡田 恵子氏

■中込 さと子氏

■出産ジャーナリスト 河合蘭氏

■富永 牧子氏

■タレント・コラムニスト 山田ローラ氏

※ファシリテーターは富岡史穂氏。

注意事項

- ✓ 応募多数の場合、会場参加は抽選となります。
- ✓ オンライン配信はZOOMにて行います。事前にアカウント登録が必要ですので、配信日時までにご登録をお願い致します。